



世界に希望を生み出そう

RI 会長：ゴードン R. マッキナリー

2620 地区ガバナー：中村 皇積

会長：渥美 聡一郎 幹事：志賀口 裕輔 会場監督：内山 義之

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2024年1月26日（金） 晴 第1646回例会 週報 NO. 22

司 会：竹内公一 会場監督補佐
点 鐘：渥美聡一郎 会長
ロータリーソング

「手に手つないで」

ゲスト

天竜浜名湖鉄道（株）

代表取締役社長 松井 宜正 様

会長挨拶



今週は寒い日が続きます。来週以降は良くなるようですので、お体に気を付けてお過ごし頂きたいと思います。

水曜日に浜松江之島高校のSDGs ポスターコンクールの表彰式がありました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。これは毎年行っている行事で、我々は慣れっこになっています。でも、作品を作った高校生にとっては1回限りの事なので、私たちも新鮮な気持ちでやらないといけないなと感じました。取り組み自体はとても良いものだと思います。クリアファイルをずっと作っていましたが、環境的にプラスチックは良くないと一度はノートに変更しましたが、今回は石灰石を主成分としたクリアファイルにしました。来年以降も柔軟に対応していけたらよいと思います。

能登半島の義援金募金は、2週

行い、約5万円集まりました。クラブから足して10万円送ります。

幹事報告



- ・地区から RLI の案内が来ています。参加は Zoom で。
- ・新会員を募集中です。

スマイル

♪渥美聡一郎さん・志賀口裕輔さん

本日は天竜浜名湖鉄道の松井社長にお越し頂きました。我々がまだ知らない天浜線の話、楽しみにしております。



♪齋藤高子さん

本日は職業奉仕委員会の担当で、天竜浜名湖鉄道の松井様にお越しいただきました。



天浜線の取り組み、そしてそれらを率いる社長のビジョンなど伺います。宜しくお願いします。

♪佐藤芳一さん

先日高山へ行き、めちやくちゃ美味しい蕎麦屋と印伝屋を発見。印伝は甲州の鹿革で作った伝統工芸品で、私の小銭入れは30年前の物ですが新品同様に素晴らしいの一言です。



卓話「天浜線に乗ろう！」

☆ゲスト紹介：職業奉仕委員長

齋藤 高子さん

天竜浜名湖鉄道は、私たちもお手伝いしている花のリレープロジェクトはもちろん、周辺地域の市町・企業・団体と手を取り、地域文化の魅力を発信し、様々な事業を企画実施しています。天浜線の役割や、社長としてそれらを率いる志や将来展望を伺いたいと思います。



☆松井 宜正 様



日頃、花のリレープロジェクトについては二俣本町駅に多大なご協力ありがとうございます。

私は生まれも育ちも浜松、志都呂町です。齋藤さんの妹さんと同級です。子どもの頃はいたずらっ子でやんちゃでしたので、親には相当心配をかけたと思います。そんな子どもでしたが、県の職員となり、天浜線も県のほうから来て、4年目になります。

天浜線は「電車」ではなく、軽油で走る「列車（気動車）」です。第3セクターとして開業し37年目を迎えます。掛川から新所原までの67.7帰路を結んでいます。

天浜線の経営は、「安全・安定した運行」、「利益の確保」、「地域観光・振興への寄与」を3つの柱としています。

社員には普段より「安全」が基本中の基本と言っています。利益を出すことについては、もともと国鉄が手放したものですから、黒字を出すのはほぼ無理でしょう。第3セクターの会社はどこも苦戦していますが、少しでも利益をあげ、公的補助金の額を減らすことを目指しています。地域への寄与については、地域の皆様に使っていただいている恩返しを意識しています。これも職業奉仕と言えるのかもしれません。地域に感謝する意識を持ちましょうと社員に言っています。令和3年の調査では、経済波及効は46億円という結果が出ました。この数字をもっと伸ばしていきたいものです。

私が特に心掛けているのは、天浜線をより多くの人に知ってもらうことで、メディアを活用して周知をあげています。ありがたいことにたくさん取り上げてもらっています。昭和レトロの施設が幸いして、「エヴァンゲリオン」や「ゆるキャン」の聖地として多くの人が訪れるようになりました。去年は「ヒルナンデス」でも取り上げられました。放送

後、今までお客さんのいなかったお菓子屋さんに人が並ぶようになるなど、効果は大きいです。AKB48とのコラボもありました。ジャニーズのタレントさんはいろいろ規制が多かったのですが、AKBさんはなんでもOKで、天浜線のPRをする良い機会になりました。また、コラボしたグッズ販売も行い、ありがたい状況になりました。

将棋の藤井聡太さんも「鉄ちゃん」です。掛川で第1局を行った時に車掌の格好をした写真がかなりPRになりました。

天浜線の歴史ですが、当初の建設目的は太平洋戦争時、東海道線の迂回路としてでした。1940年全線が開通しましたが、その後貨物や旅客が離れていき、国鉄は廃線を決定しました。しかし、朝などは通学の利用が多く、地域の足として残ることになりました。

天浜線の施設は開通当時の面影を残すものがたくさんあり、36か所が国の登録有形文化財に指定されています。転車台ツアーなど、一般の方にも「魅せる」ことを行っています。

2018年には花のリレープロジェクトが始まりました。植栽地は18か所、135のアダプト団体約1万名の方に参加していただいています。沿線が美しい花で彩られるようになり、「全国花のまちづくりコンクール」で大賞（国土交通大臣賞）を頂くこともできました。

皆様のおかげで賞がとれたので、「第2章」を始めようと「観光プロジェクト研究会」を発足させました。新たな観光モデル商品を作ることを目指し、この2月くらいに第1弾の商品を発表したいと考えています。

天浜線は、地域の皆様のご協力もあり、様々なラッピング電車が走っています。また、企業の皆様のご支援の一つの形ですが、副駅名ネーミングライツというものもあります。39駅のうち12駅に副駅名がついています。

このように天浜線は皆様のおかげをもって何とかやっている鉄道です。天浜線の出発点は戦争の軍事路線であったかもしれませんが、一昨年東京オリンピックの際

聖火を気賀から西気賀まで運び、平和路線としての役目も果たすことができました。

これからも天浜線が地域と人を結び、心と心を繋いで地域社会の発展に貢献していくことを目指します。



司会：竹内 公一さん

出席報告

発表：久米 崇也 出席委員

会員数	41名
出席者数	18名
出席算定会員数	33名
出席率	52.59%

前々回出席者数
41名
前々回出席率
100%



浜松江之島高校 表彰式

開催日 1月24日（水）

会場 クリエイト浜松

